



江東区議会公明党

このきよふみ通信

2022年第34号

＜発行責任者＞江東区議会公明党



令和3年第4回定例会では、本会議での一般質問や緊急の区長要望を行いました。そして3回にわたる補正予算が組まれ、子育て世帯等への臨時特別給付金(子育て世帯・住民税非課税世帯等)や3回目のコロナワクチン接種などの実施について可決成立しました。

令和4年もコロナ第6波への備えをはじめ、コロナ対策をさらに強化させていく必要があります。今回は緊急の区長要望や本会議質問、地域のお声の前進などをご報告させていただきます。

江東区長に緊急要望



12月14日、公明党江東総支部(総支部長・細田いさむ都議)として、江東区長に10月の衆院選で公明党が公約した18歳以下の子ども一人10万円給付(未来応援給付金)について、所得制限にはなりましたが、子育て世帯等への臨時特別給付金として国の補正予算が成立し、江東区でも10万円全額を現金で早期に給付するように要望しました。

そしていち早く12月24日に児童手当(本則給付)受給者へ一括で10万円が支給されました。高校生等は令和4年1月下旬以降申請した方へ支給されます。(申請締切:令和4年3月31日)また同時に3回目接種の早期実施等も要望しました。

新型コロナワクチン接種関連情報



3回目接種などについて

江東ナンバー交付中



2020年5月11日よりご当地ナンバーとして「江東ナンバー」の交付が開始されました。主に車を購入したときにもらうケースが多いと思います。その他にも資格のある行政書士による「出張封印」という制度もあり、車両を自動車登録事務所に持ち込むことなく、自分の車庫等で新しいナンバーを取り付けることができます。今後も江東の魅力をのせて、全国に発進!

区民相談は『このきよふみ』まで
お気軽にご連絡ください!
連絡先:080-9804-7350



このきよふみ
QRコード



本会議一般質問より

成年後見制度の利用促進



高齢化が進み認知症になる人も増加している。しかしどのような状況になっても自分らしく生活をしていくために、それを支援していくことが大切であり、その一つに成年後見制度があるが現状利用が進んでいない。

利用しやすくするために、①成年後見制度の周知の徹底、②市民後見人など担い手の確保、③金銭に関係なく利用ができる体制、④法人後見や亡くなった後のことも含めた任意後見の利用促進を質問し、窓口である権利擁護センター「あんしん江東」の拡充を要望しました。

答弁では、①今後江東区成年後見制度利用促進計画に基づいた周知徹底、②弁護士等の三職種や行政書士など適切な後見人の選任や日常生活自立支援員の増加と市民後見人の育成、③生活保護基準の方への成年後見制度利用支援事業による利用支援、④後見人となる法人の育成や区民が将来に備え安心して利用ができる確かな担い手の啓発や情報収集・提供とのことでした。

精神障がい者への支援



年々精神障がいをもつ方は増加している。その中でも住み慣れた地域で暮していくために支援が必要である。

そこで、①心のケア人材の養成、②ピアサポーターによる支援、③他区への移動による自治体間の連携、④窓口での正確な情報提供、⑤本人へのアウトリーチ支援や家族支援、⑥2024年度からの心のサポーター（ここサポ）養成に向けた早期対応、⑦精神障がいに対応した地域包括ケアシステムの早期構築を質問しました。

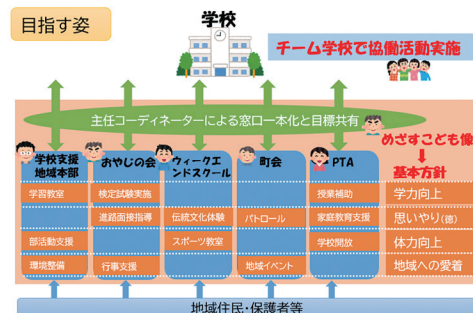
答弁では、①積極的に参加し人材を育成、②経験を活かし寄り添ったサポートができるため今後研究、③転居先自治体と入念に調整、④丁寧な情報提供に努める、⑤本人・家族を孤立させない支援を継続、⑥国の動向を注視、⑦課題を解決し、精神障がいを所管するすべての部署と関係団体との連携を図り、重層的な支援体制の構築を推進とのことでした。

地域学校協働本部の充実

令和元年度に学校支援地域本部から地域学校協働本部への移行を完了し、学校との窓口一元化や団体間の横の連携が強化された。今後児童・生徒のために学校を地域で応援する取組みの充実が期待される。

そこでコロナ禍での区の支援を確認して、①学校見学など学校支援の輪の拡大、②シニア世代の活躍機会への支援、③大学生の活用を質問しました。

答弁では、①他校の協働本部との相互訪問による活動視察を検討、②地域ごとに人材バンクとも言えるリストを作成し情報を共有して複数の協働本部において活躍可能な環境整備に努める、③大学生の積極的な参加の呼びかけとキャリア育成支援につながる仕組みづくりを検討とのことでした。



お声が前進しました



以前道幅を広げてほしいとの要望があり整備された新砂3丁目の高齢者医療センターへ向かう歩道の植栽マス上が老朽化し、ひび割れて危ないとのお声があり、今回植栽が不要になったところはアスファルト舗装をして道幅をさらに広げることができました。



現在五砂小の通学路の改善に取り組む中、東砂8丁目の歩道にあるカーブミラーの移設改善を伝え、二面のカーブミラーにして歩行空間を広げることができました。



荒川土手から出てくる雨水などの排水が悪く、水溜まりができてヘドロのようなものが堆積してしまうため改善のお声をいただきました。区より国に伝えていただき、土手から雨水等が出てくるところの真下に穴を開け直接下水管に流れるように今回工事がされました。